

レビ記の結晶の学び(2)			
第13週 祭司の任職			
<p style="text-align: center;">標語</p> <p>神に仕える願いを持っている人たちが知らなければならないことは、神が焼き尽くす火であって、燃やし活力を与えるということです。この火は、わたしたちの内側の活力、推進力、衝撃力であって、わたしたちの奉仕の真の原動力となるべきです。</p> <p style="text-align: center;">神は、わたしたちが食物としての彼を食べ、消化し、吸収することを願っています。それによって神はわたしたちの内なる存在の構成要素となり、わたしたちは神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神となります。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは主イエスを、わたしたちの中で真のヨベルとして受け入れなければなりません。わたしたちは彼を持って、わたしたちの所有地としての神を持ち、罪とサタンの束縛から救い出されて、真の自由と安息を持つことができます。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは、手順を経た三一の神、彼が完全にご自身によってなした働き、彼の働きの結果(神の住まいと永遠の現れのためのキリストの拡大としての召会)の内在的な意義を理解する必要があります。</p>		<p>第1日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>出 28:41 ……彼らに油を塗り、彼らを祭司職に任命し、彼らを聖別して、彼らがわたしに祭司として仕えるようにしなければならない。</p> <p>レビ 8:26-28 ……パン種のない輪型の平らなパン一個と、……輪型の平らなパン一個……を取り、それらを脂肪の分け前の上と右のものの上に置いた。……彼は……それらを揺り動かすささげ物として、……揺り動かし……祭壇の上の全焼のささげ物の上で焼いて煙を立ち上らせた。それらは満足させるかおりとしての任職のささげ物、エホバへの火によるささげ物である。</p>
		<p>第2日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>レビ 8:4 ……集団は集会の天幕の入り口に集められた。</p> <p>6 モーセは、アロンとその子たちを近くに連れて来て、彼らを水で洗った。</p> <p>I コリント 6:11 あなたがたのうちのある者は、このようでした。しかし、あなたがたは主イエス・キリストの御名の中で、またわたしたちの神の霊の中で、洗われ、聖別され、義とされています。</p>

仕事の合い間、家事の合い間、勉強の合い間等の時間を使って主の言葉を思い巡らしましょう！

そして献身を思い起こし宣告しましょう、「主よ、あなたを愛します。主よ、わたし自身をあなたにささげます！」

<p>第3日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>出 28:2 そして、あなたの兄弟アロンのために、聖なる衣を作って、栄光のため、また麗しさのためとしなければならない。</p> <p>4 彼らが作るべき衣は次のとおりである。すなわち、胸当てとエポデと上服と市松模様の下服、巻き頭きんと飾り帯である。彼らは、あなたの兄弟アロンとその子たちのためにこの聖なる衣を作り、彼をわたしに祭司として仕えさせなければならない。</p>	<p>第5日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>レビ 8:14 彼は罪のためのささげ物の雄牛を引いてきた。そしてアロンとその子たちは、その罪のためのささげ物の雄牛の頭の上に手を置いた。</p> <p>10:17 なぜあなたがたは、罪のためのささげ物を聖なる所の場所で食べなかったのか？ それは最も聖いものであり、エホバはそれをあなたがたに与えて、あなたがたが集団の罪科を負い、彼らのためにエホバの御前で罪を覆うようにされたからである。</p>
<p>第4日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>レビ 8:14-15 彼は罪のためのささげ物の雄牛を引いてきた。そしてアロンとその子たちは、その罪のためのささげ物の雄牛の頭の上に手を置いた。モーセはそれをほふって、その血を取り、それを指で祭壇の角の上と側面に付けて、祭壇をきよめ、血の残りを祭壇の基に注ぎ出して、それを聖別し、そのために罪を覆った。</p>	<p>第6日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>レビ 8:18 ……アロンとその子たちは[全焼のささげ物の]雄羊の頭の上に手を置いた。</p> <p>6:9 ……全焼のささげ物は祭壇の火床<small>ひどこ</small>の上に、夜通し朝までであるようにし、祭壇の火はそこに燃え続けさせなければならない。</p> <p>I コリント 11:29 なぜなら、[パンを]食べ[杯から]飲[む]者が、その体をわきまえないのであれば、自分自身に対する裁きを、食べ飲みすることになるからです。</p>

レビ記の結晶の学び(2)		
第14週 わたしたちの祭司の奉仕すべての根拠—— 全焼のささげ物の祭壇からの火		
<p style="text-align: center;">標 語</p> <p>神に仕える願いを持っている人たちが知らなければならないことは、神が焼き尽くす火であって、燃やし活力を与えるということです。この火は、わたしたちの内側の活力、推進力、衝撃力であって、わたしたちの奉仕の真の原動力となるべきです。</p> <p style="text-align: center;">神は、わたしたちが食物としての彼を食べ、消化し、吸収することを願っています。それによって神はわたしたちの内なる存在の構成要素となり、わたしたちは神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神となります。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは主イエスを、わたしたちの中で真のヨベルとして受け入れなければなりません。わたしたちは彼を持ってば、わたしたちの所有地としての神を持ち、罪とサタンの束縛から救い出されて、真の自由と安息を持つことができます。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは、手順を経た三一の神、彼が完全にご自身によってなした働き、彼の働きの結果(神の住まいと永遠の現れのためのキリストの拡大としての召会)の内在的な意義を理解する必要があります。</p>		<p>第1日</p> <p>午前 □□</p> <p>昼 □</p> <p>午後 □□</p> <p>夜 □□</p> <p>ヘブル 12:28-29 こういうわけで、わたしたちは揺り動かされない王国を受けているのですから、恵みを持つてではありませんか。この恵みによって、わたしたちが敬虔^{けいけん}と畏れをもって、神に喜ばれる奉仕をするためです。なぜなら、わたしたちの神は、焼き尽くす火でもあるからです。</p> <p>ダニエル 7:9-10 わたしが見ていると、御座が設けられ、日の老いた方が座しておられた。……彼の御座は火の炎、その車輪は燃える火であった。一筋の火の流れが彼の御前から現れ、出て来た。……</p>
		<p>第2日</p> <p>午前 □□</p> <p>昼 □</p> <p>午後 □□</p> <p>夜 □□</p> <p>レビ 9:24 その時、火がエホバの御前から出て来て、祭壇の上の全焼のささげ物と脂肪の部分の焼き尽くした。すべての民はそれを見ると、鳴り響く喜びの叫び声を上げ、顔を地に伏せた。</p> <p>歴代上 21:26 ダビデはその所でエホバに祭壇を築き、全焼のささげ物と平安のささげ物をささげた。彼がエホバに呼ばわると、エホバは全焼のささげ物の祭壇の上に天から火を下して、彼に答えられた。</p>

仕事の合い間、家事の合い間、勉強の合い間等の時間を使って主の言葉を思い巡らしましょう！

そして献身を思い起こし宣告しましょう、「主よ、あなたを愛します。主よ、わたし自身をあなたにささげます！」

第3日	<p>午前 □□</p> <p>昼 □</p> <p>午後 □□</p> <p>夜 □□</p> <p>レビ 6:13 火は祭壇の上で絶えず燃え続けさせなければならない。それを消してはならない。</p> <p>歴代下 7:1 ソロモンが祈り終わると、火が天から下って来て、全焼のささげ物と犠牲を焼き尽くし、エホバの栄光が家を満たした。</p> <p>使徒 2:3 そして、火のような舌が彼らに現れ、それが分かれて彼らめいめいの上にとどまった。</p>	<p>第5日</p> <p>午前 □□</p> <p>昼 □</p> <p>午後 □□</p> <p>夜 □□</p> <p>レビ 10:1-2 さて、アロンの子たち、ナダブとアビフは、それぞれ自分の香炉を取って、火をそれに入れ、香をその上に盛って、異火^{ことび}をエホバの御前に^{ささ}げた。それは、エホバが彼らに命じておられなかったことである。すると、火がエホバの御前から出て来て、彼らを焼き尽くしたので、彼らはエホバの御前で死んだ。</p>
第4日	<p>午前 □□</p> <p>昼 □</p> <p>午後 □□</p> <p>夜 □□</p> <p>ルカ 12:49 わたしが来たのは、地上に火を投じるためである。それがすでに燃え上がっていたならと、わたしはどんなに願っていることか！</p> <p>I コリント 3:12-13 ところが、その土台の上に、人が金、銀、宝石、木、草、刈り株をもって建てるなら、それぞれの人の働きはあらわになります。なぜなら、かの日がそれを明らかにするからです。すなわち、それは火によって現され、その火自身が、それぞれの人の働きがどんなものであるかを証明するのです。</p>	<p>第6日</p> <p>午前 □□</p> <p>昼 □</p> <p>午後 □□</p> <p>夜 □□</p> <p>ローマ 12:11 熱心で怠けることなく、霊の中で燃え、主に仕えなさい。</p> <p>II テモテ 1:6-7 こういうわけで、わたしがあなたに思い起こさせたいのは……神の賜物を、再び燃え立たせることです。というのは、神がわたしたちに賜わったのは、臆する霊ではなく、力と、愛と、冷静な思いとの霊であるからです。</p> <p>I テサロニケ 5:19 その霊を消してはいけません。</p>

レビ記の結晶の学び(2)		
第15週 レビ記の解釈としてのヘブル人への手紙		
<p style="text-align: center;">標語</p> <p>神に仕える願いを持っている人たちが知らなければならないことは、神が焼き尽くす火であって、燃やし活力を与えるということです。この火は、わたしたちの内側の活力、推進力、衝撃力であって、わたしたちの奉仕の真の原動力となるべきです。</p> <p style="text-align: center;">神は、わたしたちが食物としての彼を食べ、消化し、吸収することを願っています。それによって神はわたしたちの内なる存在の構成要素となり、わたしたちは神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神となります。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは主イエスを、わたしたちの中で真のヨベルとして受け入れなければなりません。わたしたちは彼を持って、わたしたちの所有地としての神を持ち、罪とサタンの束縛から救い出されて、真の自由と安息を持つことができます。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは、手順を経た三一の神、彼が完全にご自身によってなした働き、彼の働きの結果(神の住まいと永遠の現れのためのキリストの拡大としての召会)の内在的な意義を理解する必要があります。</p>		<p>第1日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>
		<p>第2日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>

仕事の合い間、家事の合い間、勉強の合い間等の時間を使って主の言葉を思い巡らしましょう！

そして献身を思い起こし宣告しましょう、「主よ、あなたを愛します。主よ、わたし自身をあなたにささげます！」

第3日	<p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>ヘブル 1:2-3 これらの日々の終わりには、御子の中でわたしたちに語られました。神は御子を万物の相続者と定め、また御子を通して宇宙を造られました。御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の明確なかたちであって、彼の力ある言葉によって、万物を維持し担っておられます。そして、罪のきよめを成し終えてから、高き所の威光ある方の右に座られました。</p>	<p>第5日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>ヘブル 7:25-26 こういうわけで、彼を通して神に進み出る者たちを、彼は極みまで救うことができるのです。なぜなら、彼はいつも生きていて、彼らのためにとりなしておられるからです。このように、聖く、悪巧みがなく、汚れがなく、罪人とは分離しており、天より高くなられた大祭司こそ、わたしたちにふさわしかったのです。</p>
第4日	<p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>ヘブル 2:10 万物がその方のために存在し、万物がその方を通して存在する方が、多くの子たちを栄光へ導き入れるのに、彼らの救いの創始者を、苦難を通して成就されるのは、彼にふさわしいことでした。</p> <p>3:6 キリストは御子として、神の家を治めることに忠信でした。……わたしたちは彼の家なのです。</p>	<p>第6日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>ヘブル 10:19-20 こういうわけで、兄弟たちよ、わたしたちはイエスの血によって、大胆に至聖所へ入ります。それは、彼がわたしたちのために、彼の肉体である幕を通して、一つの新しい生きた道を開設してくださったからです。</p>